

DATA

- 部員数：90人
(1年23人/2年33人/3年34人)
- 活動時間：週3回/平日3時間
- ジャンル：ヒップホップ、ガールズ、ジャズ、ブレイク
- 最近のおもな成績：ダンススタジアム全国大会出場など
- 振り付け：大会作品は外部コーチが振り付けし、学園祭やその他イベント作品は生徒たちが制作



- 1 互いのムーブを見せ合いながら練習する男子たち。楽しみながらレベルアップしていく姿はまさにストリート!
- 2 男子部長の野村さんと女子部長の萩生田さん。
- 3 女子のチーム練習は教室や屋上に分かれて行なわれる。
- 4 元キッズダンサーやダンススクールに通う部員も多い。



DATA

- 部員数：72人
(1年26人/2年33人/3年13人)
- 活動時間：週4回/平日3時間、土日5時間
- ジャンル：ヒップホップ、ガールズ、ロックなど
- 最近のおもな成績：ダンススタジアム新人戦モジュールクラス準優勝など
- 振り付け：部員たちが制作し、外部コーチがチェック



- 1 熱心なコーチと4人の顧問サポートのもと、女子人気1位の部活へ成長!
- 2 部長になるとは思っていなかったという、西田さん。部員たちの投票を参考にコーチが決定したという。みんなの頼れる存在!
- 3 「憧れは卒業生たち!」代々引き継がれるストリート魂が川北の誇り!
- 4 格技場の半面には柔道量が敷かれており、部員たちは靴を脱いで畳の上で練習!



東京都

駒澤大学高等学校

プロダンサーによる本格レッスンで急成長

駒澤大学高校といえば、今年関東一に輝いたサッカー部をはじめ、全国レベルのスポーツ部が多いことで知られる強豪校だ。2007年にスタートしたダンス愛好会も、飛躍的な盛り上がりで2013年にダンス部に昇格。今では部員数90名の人気部活となった。急拡大のため十分な練習環境が整っておらず、この日も女子全員(約80名)での基礎トレーニングは廊下で行なわれ、互いの距離感を気にしながら進められていた。

同校では3名のプロダンサーが指導にあたり、ヒップホップ、ジャズ、ブレイク、それぞれのジャンルで本格的な指導が受けられる。女子は、ダンススタジオレベルのストレッチ・筋トレ・リズムトレーニングをみっちりで行ない、基礎力を揃えていく。男子はブレイクが中心の別メニューで進められており、こちらもなんと世界レベルのコーチ指導のもと、体力作りから高度な大技まで日々特訓に励んでいた。

昨年のダンススタジアム全国大会進出から大会出場数を増やしているという駒大高ダンス部。場数をこなした今夏の活躍も楽しみである。

神奈川県

川崎北高等学校

外からのインプットを仲間と活かす現代的ダンス部

大会常連校である、県立川崎北高校。同好会から始まった“川北”ダンス部は、創立からまだ6年と比較的新しい部だが、すでにダンススタジアムやHIGH SCHOOL DANCE COMPETITIONなど、大きな大会でも好成績を残している。ヒップホップのトレンドを取り入れた衣装や使用楽曲からは、部員たちのストリートなこだわりが感じられ、グルーヴィなダンスにも定評がある。

同校には、外部のダンススクールに通う部員やダンス経験者が多く所属している。その数は年々増えており、部全体のレベルも上がってきているようだ。「今年の1年生は半分以上が踊れる子ですが、中にはキャリア10年という子もいるので上級生は少し焦っています(笑)」という部長の西田さん。そんな彼女も、高校に入る前からダンススタジオに通いキャリアを積んできたひとりである。初心者が多いイメージの高校ダンス部だが、同校のようにこれからどんどん経験者が増えていくだろう。各部員が外部で吸収してきたことをダンス部に持ち帰り仲間と共有する。この流れが、今後さらに高校ダンス部のレベルをあげていくのかもしれない。

ドキュメント

ダンス部の「日々」

今回は、夏の大会に向けて全力をそそぐ大会常連の3校をピックアップ! 各校それぞれの個性的な活動内容に注目してみよう。

神奈川県

川和高等学校

神奈川県下でもトップクラスの進学校である、県立川和高校。部活動も参加率95%以上と非常に盛んだ。部活と学業の両立に悩む高校生も多いが、同校では、日常の授業からしっかりと勉強に励み、メリハリをつけて部活に取り組んでいる生徒がほとんどだという。ダンス部は週6回の部活動に加え、朝練・昼休み練も部員が自主的に行なっているが、学業に支障はなく、かえって文武両道の相乗効果が生まれているようだ。

華やかな衣装と大人数を活かした細かな構成が特徴の川和高ダンス部だが、振り付けから曲編集、衣装作りまで、全て部員たちで作っている。この日も、衣装の型作りをする部員やパソコンに向かって音探しをする部員が、練習場である教室の端で黙々と作業に取り組んでいた。その他の1年生は別教室で基礎練や振り付け練習を繰り返し行ない、2年生はグループに分かれて作品の構成を話し合うという時間が続いた。

指導を行なっているのは、15年間川和高校を見ているダンサーのyoppyコーチ。近年ではほぼ実技指導はせず、部員たちから生み出されるたくさんのアイデアに対して、ヒントやアドバイスをする監督のような存在だ。「最近は大目出ししかしていませんね(笑)」というコーチだが、部員たちからは「ヨッピー!」と愛称で呼ばれ、厳しい指導の中にもしっかりと信頼関係が築かれている様子がうかがえる。

近道はせず、チーム全員で試行錯誤しながら作品を作ることを一番の意義とし、全員参加で大会に挑むことで仲間とのコミュニケーション能力やチームワークを育てる。部活と勉強、メリハリのある学校生活と、切磋琢磨された創造力が大会での成果に繋がっているのだ。

ダンス部を通して鍛えられる「創造力」



DATA

- 部員数：89人(1年35人/2年29人/3年25人)
- 活動時間：週6回/平日3時間、土日6時間
- ジャンル：ヒップホップなど
- 最近のおもな成績：神奈川県高等学校ダンス新人大会優勝、ダンススタジアム夏の新人戦東日本大会優勝など
- 振り付け：部員たちのアイデアをコーチが都度チェックしながら制作



- 10音・衣装のアイデアもすべて部員たちから生み出される!
- 9ダンススタジアム2016春の新人戦では衣装・コンセプト・選曲どれも群を抜いて優勝!
- 8教室の机を廊下に運び出してダンス部の練習場所を作る。
- 6教室の窓に姿を映して踊り込みに励む1年生。



コーチを務めるプロダンサー yoppy



教育の“育”の部分を担当しています!

私がダンスを作ってあげるのではなく、“自ら作ることができる子”を育てたいと思っています。みんなで色々がきながらたどりついた答えが私の予想以上だったときが、コーチとしては一番嬉しいですね。人間関係に関しては、1年生のときが今、いる人なとうまく付き合えなかったら、大人になっても一緒。変わるべきなのは自分であって、他人じゃない。どんな人と出会っても楽しめるような器を持つことができれば、楽しいことばかりだよ!と言ってくれているんです。そうすると、みんなで活動することが楽しくなって、朝練や昼練をするほど部活に行きたくてしょうがなくなるんですよね。今の1年生にも、早くそういう気持ちになってもらいたいです!